

滋賀県議会だより



No.95

編集・発行 / 滋賀県議会

11月定例会議の概要

11月29日～12月21日の23日間

11月定例会議では、「滋賀県議会議員および滋賀県知事の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例案」をはじめとする議員提出議案9件と、「平成30年度滋賀県一般会計補正予算」をはじめとする知事提出議案43件が上程されました。これらを審議した結果、いずれも原案のとおり可決または同意しました。

また9月定例会議において継続審議とされていた平成29年度滋賀県歳入歳出決算の認定等を求めることについて、認定または可決しました。

各委員会では、付託された各議案、請願その他所管事項について審査および調査を行いました。

● 饗庭野演習場における迫撃砲弾着弾事案の再発防止等を求める決議案を可決

平成30年11月14日に陸上自衛隊饗庭野演習場で行われた訓練において、演習場外の一般車両に被害を及ぼす事案が発生したことに対し、県民生活の安全・安心を確保するとともに、本事案の原因究明、再発防止に向けた安全対策の強化および迅速な情報伝達を徹底することを求めた決議案を可決しました。

● 台風による被害に対応するための補正予算を可決

総額で17億3,192万4千円の一般会計補正予算(第10号)を可決しました。台風第21号に係る生活再建支援を実施する経費などが計上されています。

非常に高い発信力と誘客効果があることから、県としては、本県が持つ歴史的魅力を最大限発信していくべきものと認識しています。そのため、放映の効果が全市町に波及するよう、明智光秀公に関する他の武将も含め、戦国をテーマとした情報発信を行いたいと考えています。

推進体制としては、県、びわこビジターズビューロー、市町、観光協会、交通事業者、旅行事業者など多様な主体が参画する現在の滋賀県大型観光キャンペーン推進協議会の枠組みを引き継ぎ、全県が一丸となった新たな組織を立ち上げたいと考えています。

さらに、「麒麟がくる」大津市観光振興協議会ではコンテンツ開発や受入体制整備などに取り組みされており、県としては大津市を核としたそのような取組が戦国というテーマ

問 戦国武将、明智光秀の生涯を描く「麒麟がくる」の放送開始が1年後となったが、NHK大河ドラマを通じて地域活性化をどのような体制で進めていくのか、既に「麒麟がくる」大津市観光振興協議会を立ち上げている大津市との連携の在り方と併せて伺います。

答 大河ドラマの放映は、非常に高い発信力と誘客効果があることから、県としては、本県が持つ歴史的魅力を最大限発信していくべきものと認識しています。そのため、放映の効果が全市町に波及するよう、明智光秀公に関する他の武将も含め、戦国をテーマとした情報発信を行いたいと考えています。

推進体制としては、県、びわこビジターズビューロー、市町、観光協会、交通事業者、旅行事業者など多様な主体が参画する現在の滋賀県大型観光キャンペーン推進協議会の枠組みを引き継ぎ、全県が一丸となった新たな組織を立ち上げたいと考えています。

問 戦国武将、明智光秀の生涯を描く「麒麟がくる」の放送開始が1年後となったが、NHK大河ドラマを通じて地域活性化をどのような体制で進めていくのか、既に「麒麟がくる」大津市観光振興協議会を立ち上げている大津市との連携の在り方と併せて伺います。

答 大河ドラマの放映は、非常に高い発信力と誘客効果があることから、県としては、本県が持つ歴史的魅力を最大限発信していくべきものと認識しています。そのため、放映の効果が全市町に波及するよう、明智光秀公に関する他の武将も含め、戦国をテーマとした情報発信を行いたいと考えています。

推進体制としては、県、びわこビジターズビューロー、市町、観光協会、交通事業者、旅行事業者など多様な主体が参画する現在の滋賀県大型観光キャンペーン推進協議会の枠組みを引き継ぎ、全県が一丸となった新たな組織を立ち上げたいと考えています。

**11月定例会議における
質疑・質問から**

観光振興

で全市町と結びつき、全国に向けて発信できるよう密接に連携していきます。

問 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の主会場の用地問題と主会場を含めた競技施設の整備スケジュールについて伺います。

答 主会場の用地問題ですが、2018年11月中旬を目安とし、彦根市とともに地権者の方々に対して精力的に交渉に取り組んできた結果、工事を急ぐ必要がある公園東側の第3種陸上競技場整備の用地は、契約の目処がついたことから、来年度中に公園基盤工事に着手できるように準備を進めます。

それ以外の未買収の用地の取得については、収用手続に

問 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の主会場の用地問題と主会場を含めた競技施設の整備スケジュールについて伺います。

答 主会場の用地問題ですが、2018年11月中旬を目安とし、彦根市とともに地権者の方々に対して精力的に交渉に取り組んできた結果、工事を急ぐ必要がある公園東側の第3種陸上競技場整備の用地は、契約の目処がついたことから、来年度中に公園基盤工事に着手できるように準備を進めます。

それ以外の未買収の用地の取得については、収用手続に

問 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の主会場の用地問題と主会場を含めた競技施設の整備スケジュールについて伺います。

答 主会場の用地問題ですが、2018年11月中旬を目安とし、彦根市とともに地権者の方々に対して精力的に交渉に取り組んできた結果、工事を急ぐ必要がある公園東側の第3種陸上競技場整備の用地は、契約の目処がついたことから、来年度中に公園基盤工事に着手できるように準備を進めます。

それ以外の未買収の用地の取得については、収用手続に



明智光秀像(都市公園湖岸緑地北大津地区下阪本)

問 平成30年10月に「人と湖沼の共生」持続可能な生態系サービスを目指して「」をテーマに世界湖沼会議が茨城県で開催され、期間中に本県と茨城県、長野県、鳥取県、島根県の5県で「湖沼水環境保全に関する自治体連携」の設立宣言がされました。設立の経緯と今後の方向性を伺います。

答 琵琶湖では近年、在来魚介類の減少など生態系の課題が顕在化しており、同様の課題に直面している自治体と連携することで、より効果的な課題解決につながることを期待できます。

このため、平成30年4月に、湖沼水質保全特別措置法に基づく指定湖沼のうち、天然湖沼を有する各県に連携を呼びかけ、趣旨に賛同する5県の知事が発起人となり、世界湖沼会議の場において立ち上げたものです。

世界湖沼会議では、この自治体連携のスタートとして「シジミの棲める湖沼環境を目指した自治体の取組」をテーマにワークショップを開催し、各湖沼が抱える課題等の事例紹介と今後の取組について意見交換を行いました。

今後は、各湖沼の先進的な取組の知見の共有や共同調査の実施等により、それぞれの湖沼における施策の充実を図るとともに、参加自治体が協力し、国や世界に向けた取組の発信や政策の提言などを目指していきます。

問 平成30年10月に「人と湖沼の共生」持続可能な生態系サービスを目指して「」をテーマに世界湖沼会議が茨城県で開催され、期間中に本県と茨城県、長野県、鳥取県、島根県の5県で「湖沼水環境保全に関する自治体連携」の設立宣言がされました。設立の経緯と今後の方向性を伺います。

答 琵琶湖では近年、在来魚介類の減少など生態系の課題が顕在化しており、同様の課題に直面している自治体と連携することで、より効果的な課題解決につながることを期待できます。

このため、平成30年4月に、湖沼水質保全特別措置法に基づく指定湖沼のうち、天然湖沼を有する各県に連携を呼びかけ、趣旨に賛同する5県の知事が発起人となり、世界湖沼会議の場において立ち上げたものです。

世界湖沼会議では、この自治体連携のスタートとして「シジミの棲める湖沼環境を目指した自治体の取組」をテーマにワークショップを開催し、各湖沼が抱える課題等の事例紹介と今後の取組について意見交換を行いました。

今後は、各湖沼の先進的な取組の知見の共有や共同調査の実施等により、それぞれの湖沼における施策の充実を図るとともに、参加自治体が協力し、国や世界に向けた取組の発信や政策の提言などを目指していきます。

問 平成30年10月に「人と湖沼の共生」持続可能な生態系サービスを目指して「」をテーマに世界湖沼会議が茨城県で開催され、期間中に本県と茨城県、長野県、鳥取県、島根県の5県で「湖沼水環境保全に関する自治体連携」の設立宣言がされました。設立の経緯と今後の方向性を伺います。

答 琵琶湖では近年、在来魚介類の減少など生態系の課題が顕在化しており、同様の課題に直面している自治体と連携することで、より効果的な課題解決につながることを期待できます。

このため、平成30年4月に、湖沼水質保全特別措置法に基づく指定湖沼のうち、天然湖沼を有する各県に連携を呼びかけ、趣旨に賛同する5県の知事が発起人となり、世界湖沼会議の場において立ち上げたものです。

世界湖沼会議では、この自治体連携のスタートとして「シジミの棲める湖沼環境を目指した自治体の取組」をテーマにワークショップを開催し、各湖沼が抱える課題等の事例紹介と今後の取組について意見交換を行いました。

今後は、各湖沼の先進的な取組の知見の共有や共同調査の実施等により、それぞれの湖沼における施策の充実を図るとともに、参加自治体が協力し、国や世界に向けた取組の発信や政策の提言などを目指していきます。



大会マスコットキャラクターのキャプティ(左)とチャプティ(右)



第17回世界湖沼会議

用語解説 ※1「PFI」… 民間の資金と経営能力・技術力を活用し、公共施設等の設計・建設・改修・更新や維持管理・運営を行う公共事業の手法。

(裏面に続きます)

行財政

問 次期滋賀県基本構想において描かれている2030年の姿を見据え、新年度予算編成に知事の想いをどのように反映させようとしているのか伺います。

答 平成31年度は次期基本構想と次期行政経営方針に基づき、「未来へ幸せが続く滋賀」の実現に向け、着実な一歩が踏み出せるよう意を用いてまいります。具体的には、健康寿命延伸のための取組や、琵琶湖を守ることにつながる森林や山村を活かす取組など、「健康しが」につながる施策にさらに重点的に取り組めます。同時に県民の福祉の向上に資する行政サービスは今後も安定的に提供していくためには、財政健全化に向けた取組を歳入・歳出両面から着実に進めていくことが重要と認識しています。

このため、新年度予算編成では、特に5つの視点を大切に取り組みます。1. 一点目、一人ひとりの命と人権、防災、防犯、安全・安心、健やかさ、その人らしさを重視すること、2. 二点目、琵琶湖、その源流である山、自然の生態系サービスを守ること、3. 三点目、活力・発信力・持続力を高めること、4. 四点目、未来と世界をしっかりと展望すること、5. 五点目、県庁の組織の経営です。こうした点を意識し、世界を視野に、未来を見据えた新年度予算となるようしっかりと

と取り組んでいきます。

災害対策

問 平成28年4月の熊本地震において、被災地への支援物資の円滑な輸送が困難となった状況を踏まえ、道路法等の一部が改正され、国が「重要物流道路」に指定した区間では構造の強化や、災害時の救援ルート確保や復旧などを国が自治体に代わって行えるようになったが、本県の道路整備にどのように活かしていくのか伺います。

答 本県は多くの工場が集積する日本有数の「ものづくり県」です。しかし、開発のスピードに道路整備が追いつかず、慢性的な渋滞が発生しています。こうした渋滞を解消し、更なる企業立地による経済成長を促進するためには、物流ネットワークの整備が必要不可欠です。今回の法改正により重要物流道路に指定されることで国際コンテナに対応した道路規格、災害時における早期の道路復旧といった道路機能の強化や、整備にあたっての重点支援が期待されます。この制度を積極的に活用し、円滑な物流ネットワークの構築につなげていきます。

問 国の需給推計によると、本県の介護人材が現状のまま推移すれば2025年には約3400人の不足が見込まれるが、人材確保の取組と今後の対応について伺います。

答 人材確保については現在、就業相談や雇用のマッチング支援等のほか、定住外国人や障害のある人への研修と就業の支援、介護福祉士修学資金の外国人への貸付などを行っています。人材の育成については、事業所が行う新人職員の育成支援や各種研修の受講に対する助成、介護リーダーを養成するための研修などを行っています。人材の定着については、介護給付費の介護職員処遇改善加算を活用して介護職員の一層の処遇改善を図るため、社会保険労務士を派遣し、給与規程等の整備指導を行うほか、働きやすい職場づくりにと介護職場のイメージアップを図るための事業者登録制度も開始しました。しかしながら介護人材を取り巻く環境は今後も厳しい状況が予想されることから、外国人労働者の受入拡大や処遇改善等の国の動向も注視しながら、幅広い人材確保のための取組を進めるほか、職員のキャリアに応じた資質や能力の育成、地域の

福祉政策

問 国の需給推計によると、本県の介護人材が現状のまま推移すれば2025年には約3400人の不足が見込まれるが、人材確保の取組と今後の対応について伺います。



学校教育

問 本県の学校現場ではベテラン教員の大量退職に伴い若手教員がここ数年急激に増えているが、教育の質の維持・向上に向けて、その育成や養成をどのように図っていくのか伺います。

答 教員としての基礎を固め実践力を育成するために、初任者研修、教職2年次研修、教職3年次研修を若手教員研修として設定しています。また、自律的に学び続ける教員を支援するため、校内におけるOJTを推進すること、若手教員と中堅・ベテラン教員との交流を活性化し、授業の技術や学校運営のノウハウが円滑に継承されるよう取組を進めています。一方、採用前段階の取組として「滋賀の教師塾」を開講し、大学生等に講座を実施しています。さらに、昨年度から小学校教員と養護教員の採用内定者を対象に「滋賀若鮎教職インターンシップ」を実施しています。今年度は中学校教員も対象に加え、大学新卒または大学院を修了する採用内定者のうち、希望者に5日間以上学校現場でインターンシップに取り組むこ

事業所が共同で行う人材確保の支援など、市町や事業所、養成施設等の関係者のご意見もお聞きし進めていきます。

11月定例会議で審議した主な議案

議案番号	件名	結果
議案第116号	滋賀県議会議員および滋賀県知事の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例案	可決
議案第117号	平成29年度滋賀県一般会計および各特別会計歳入歳出決算の認定を定めることについて ほか4件	認定
議案第118号	平成29年度滋賀県モーターボート競走事業会計未処分利益剰余金の処分につき議決を定めることについて	可決
議案第119号	平成30年度滋賀県一般会計補正予算(第10号)	可決
議案第120号	滋賀県琵琶湖流域下水道事業の設置等に関する条例案 ほか2件	可決
議案第121号	契約の締結につき議決を定めることについて(草津用水2期地区常盤用水路(その1)工事) ほか23件	可決
議案第122号	平成30年度滋賀県一般会計補正予算(第11号) ほか6件	可決
議案第123号	滋賀県特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例案ほか2件	可決
議案第124号	滋賀県人事委員会委員の選任につき同意を定めることについて ほか4件	同意



滋賀の教師塾

11月定例会議で審議した決議・意見書

番号	件名	結果
決議第2号	饗庭野演習場における迫撃砲弾着弾事案の再発防止等を求める決議案	可決
意見書第19号	認知症施策の推進を求める意見書案	可決
意見書第20号	外国人材が活躍できる社会環境の整備を求める意見書案	可決
意見書第21号	Society5.0時代に向けた学校教育環境の整備を求める意見書案	可決
意見書第22号	義援金に係る差押え等を禁止する恒久的な制度の法制化を求める意見書案	可決
意見書第23号	無戸籍者問題の解消に係る総合的な対策を求める意見書案	可決
意見書第24号	幼児教育・保育無償化の円滑な導入を求める意見書案	可決
意見書第25号	放課後児童クラブの質の確保を求める意見書案	可決

11月定例会議で採択した請願

- 学童保育(放課後児童クラブ)の質の確保を求める意見書の提出について

議会からのお知らせ

●滋賀県議会ホームページ、Twitter(ツイッター)
 本会議や委員会の開催情報、議会の仕組み、議員の紹介、会議録など、県議会の最新の情報を随時掲載しています。
 また、本会議の様子はライブ中継と録画配信もしています。
 (*スマートフォン等でも御覧いただけます。)

滋賀県議会ホームページ <https://www.shigaken-gikai.jp/>
 滋賀県議会ツイッター(アカウント名 @shigakengikai)



●2月定例会議の御案内
 2月15日(金)から3月15日(金)までの29日間の日程で開催する予定です。本会議や委員会は傍聴することができます。車椅子用の傍聴スペースは2席分あります。団体で傍聴される場合や詳細についてはお問い合わせください。

用語解説 ※2「OJT」… 職場内における職務の遂行過程を通して、上司、先輩等が報告、協議、指示等の機会を捉えて、後輩等に基本的な資質を身に付けさせ、また、その職務に必要な知識、技術、経験等を計画的に教えていく取組。

この印刷物は古紙パルプを配合しています